

各 位

会 社 名 アステリア株式会社

代表者名 代表取締役社長 平野洋一郎

(コード番号:3853 東証プライム)

問合せ先 常務執行役員コーポレート本部長 齊藤裕久

(TEL 03-5718-1655)

特別損失の計上（単体）および通期個別（単体）業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）決算（単体）において、特別損失を計上いたしました。また、個別（単体）業績につきまして、前期実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

当社の100%連結子会社であるThis Place Limitedにつきまして、収益の計上が当初計画よりも遅れていることから、当該企業の事業環境、財政状態及び経営成績を勘案し、あらためて株式の評価を行った結果、2023年3月期決算（単体）において、関係会社株式評価損約1,022百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、当該関係会社株式評価損につきましては、連結決算上相殺消去されるため、連結財務諸表に与える影響はございません。

2. 前期実績との差異について

2023年3月期通期個別業績と前期実績との差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期（2022年3月期）実績(A)	2,562	56	237	215	13.02
当期（2023年3月期）実績(B)	2,859	132	326	△678	△40.35
増減額(B-A)	297	76	89	△893	—
増減率(%)	11.6%	134.8%	37.7%	—	—

3. 差異の生じた理由

個別（単体）の売上高については、「ASTERIA Warp」（アステリア ワープ）を主力製品とするソフトウェア事業が伸張した結果、前期実績を上回ることとなりました。

個別（単体）の営業利益および経常利益につきましては、前期から継続している中期経営計画「STAR」に沿った人員の拡充やマーケティング施策を重点的に実施したことにより、販売費及び一般管理費が増加はしたものの、売上高の増収により増加となりました。しかし、当期利益につきましては、「1. 特別損失の内容」のとおり関係会社株式評価損により減益となりました。

※2023年3月期の業績（連結）につきましては、本日公表の「2023年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」をご参照ください。

以 上